

音楽三田会

〒105 東京都港区西新橋1-10-8
第2森ビル
ミリオンコンサート内
音楽三田会事務局
TEL 3501-5638
FAX 3501-5620

「独立自尊」

吉田雅夫

私が慶応へ入学して、最初に感銘を受けたのは、高橋誠一郎先生、先生と
言うべきではないかも知れませんが、当
時は先生も生徒も「君」でした。先生
とは福沢諭吉先生お一人のことでした。

存より来る、自尊は克己より生まる」。
(少し違うかもしれませんが)。この時の
先生の「独立自尊」という言葉が、わ
たしの一生のモットーになっていま
す。

いまは高橋先生といわせてくださ
い。この高橋先生の「経済原論」に出
席して、驚きました。先生は着物に袴
で教壇へ、手には本もノートも何も
たず、教壇にある腰かけに正座され、
約2時間、微動だにせず講義をされる
のです。そして「独立自尊」の意味を
教えられた記憶があります。「独立は共



吉田雅夫氏

生のころからかなりの名手「？」でし
た。中学生のころ、近所の古道具屋に
小型のギターのような楽器がショウウ
インドにかざってあり、店の人に聞い
てもなんとという楽器かわからない、と
いうのですが興味があるので、ただみ
たいに安い値段で買ってきて、ヴァイ
オリンの弦をはって音をだして楽しん

だのです。数年後、これがウクレレと
いう楽器であることを知りました。そ
のころからギターにも興味を持ちま
した。

慶応に入学してから「KOマンドリ
ン・クラブ」なる団体があることを知
り、ギターをひかせてもらいに部室を
訪ねたら、フルートが吹けるならフル
ートを吹けと云われ、マンドリン・ク
ラブにフルートが必要であることを知
りました。ところがこのマンドリン・
クラブのフルートが意外なほど重要
で、まず30人か多い時には40人位
のマンドリン、ギター全員の調弦の為
に「A」を出すのはフルートの役目な
のです。かなり長い時間正しく「A」

をだしていなければなりません。いよ
いよ合奏となると、たつた1本のフル
ートで30名乃至40名の合奏体に対
抗するのですから、色々な意味で神経
をつかいます。ちゃんと調弦してあれ
ば、フレットのあるマンドリン、ギタ
ーは音程はよく合います。フルートの
音程をそれに合わせるの良い勉強にな
りました。マンドリン・クラブでフル
ートを吹いている吉田はなかなか良い
と評判になり「ワグネル・ソサイエテ
ィ」にひっぱり込まれました。ここで
本格的なおケの勉強ができました。こ
この指揮者は大塚淳先生で東京音楽学
校（いまの芸大）の先生でもあり、実
にきびしく散々搾られました。そのこ
ろ私はフルートはベーム式を吹いてい

ましたが、ピッコロ・フルートは旧式
のアルパート式を使っていました。そ
の旧式な楽器でベートーヴェンの「序
曲エグモント」などを吹いたのですか
ら、いま考えると冷汗ものです。

私は予科本科六年を三田で過ごした
最後の学生です。次の年から予科は日
吉に移りました。ですから私は午後3
時頃まで授業、終わると、マンドリ
ン・クラブかワグネル・ソサイエテ
ィ、の練習、一日中、三田の山にいま
した。ワグネルの定期は一年に一回だ
と記憶しています。この練習は例えば、
メインの曲が、ベートーヴェンのシン
フォニー第三番「英雄」だとすると、
一年間その曲ばかり練習、ですからま
ことに細かく搾られました。そして秋
の「定期演奏会」までにどうしてもう
まくいらないパートには、新響のメン
バーがエキストラで来てくれました。
おもにオーボエとファゴットでした。
ですから本番ではまことに良い音がし
ました。そのころから私は新響のメン
バーと顔なじみでしたが、将来音楽家
になるう、などとは夢にも考えていま
ませんでした。

昭和13年に卒業して、当時の一流
会社、日産化学工業へ入社、配属され
たのが「管理課勤務係」。私がKOで
法学部法律科だったので、労務管理を
やらされる羽目になったのです。その
仕事たるや、簡単に言えば、あまりに
も非人道的なのです。2・26事件の

音楽三田会 駅コン 顛末記

磯村健二

翌年、軍国主義の燃え上がっている時代で、福沢先生の道徳的人道的な教えとは正反対でした。その酷さに嫌気がさしました。丁度、昭和14年に私が働いている隣のビルにNHKが引っ越ししてきました。日産の仕事の昼休みにNHKでこっそり「国民歌謡、椰子の実」などをフルートで吹いて、アルバイト稼ぎをしました。1年数カ月で日産を辞め、この時点でアルバイトを本業にしてしまいました。辞めるとき考えたのは、フルートを吹くのは、戦争にも関係なく、人畜無害であり、「独立自尊」の精神を守れると改めて考えたことでした。

■会員消息

☆勲四等瑞宝章 由井正一君、望月和夫君

☆紫綬褒章 林光君、石田種生君、湯浅讓二君

☆日本芸術院会員 中村富十郎君

■物故会員

◇森邦男(高1944卒、邦楽) 1995年2月26日没

◇姫野翠(文1955卒) 昭和音大短大教授1995年11月16日没

◇フランクキー堺(法1951卒) 打楽器、タレント 1996年6月10日没

◇村田武雄(文院1935) 元慶応大学教授研究評論1997年3月16日没

いささか旧聞になるが、昨年暮れも押し迫った12月17日(火)の午後2時半から、東京駅の構内で一風変わったガラコンサートが行なわれた。東京駅丸の内北口ホールで毎年恒例で行われている、R. I. ジャパン(国際難民奉仕会)主催、「世界の難民に光を——コンサート」に出演した音楽三田会有志の面々である。

前述の慈善団体から話があり、9月例会で幹事のみなさんに相談したところ、前回の三田の山でのコンサートの第2弾として積極的にやろうじゃないかと異常な盛り上がり見せた。

さっそく会員の演奏家の皆さんにアンケートを出したところ、当会ならではのクラシックからポピュラーにいたる不思議(?)な顔ぶれが名乗りを上げられ、後述のプログラムが出来上がった。裏方スタッフとして、中川滋、滝口明、荒井宣之さんが協力を申し出られ、事前の準備や当日の力仕事に当たられた。

途中経過、せっかく参加を予定されたにもかかわらず、東京駅の都合で電子楽器や金管楽器のみなさんが出演できなくなるというハプニング

もおこった。渡辺純子さんには出来るだけ会員の演奏家という趣旨に賛同していただき、ご自身のソロの他に、室内楽からシャンソンの伴奏までお願いする一幕にもなる。

さて当日、秋篠宮妃紀子殿下が点灯した巨大なクリスマスツリーの下に、寺西春雄先生のご尽力により、河合楽器青山店から運び込まれたグランドピアノ(無料提供)のまわりには、乗降客が足を止め黒山の人大かりとなった。

残念なことに、いソノてルラさんの急病により司会者が急遽、不肖わたくしに変更になったことを除けば何も問題は起らず、演奏内容は上々の出来で評判もよく、募金活動も盛り上がったとのことで、後日、主催者から感謝状が贈られた。演奏に参加された方々からは、普段のコンサート会場やライブのステージでは味わえない緊張感と楽しさがあり、貴重な体験になったとの感想も寄せられた。

今年もお誘いがあった場合は、昨年実現できなかった邦楽やジャズの方々も是非ご協力を...

当日のプログラムは以下の通り(敬称略・演奏順) *印は会員外の協賛出演者。

- 呉信樹 (Pf) *秋山君彦 (Fl) 七つの子、宵待草、赤とんぼ、南部牛追い唄、この道マンシーニ/小象の行進
- 斎藤明子・尾尻雅弘 (Gt デュオ) グリーク/プレリュード、クリスマスソング
- 大石康恵 (Pf) *猪熊広美 (Fl) Leaves On The River、天満星 (オリジナル)
- 水織ゆみ (シャンソン) 渡辺純子 (Pf) 水に流して、ろくでなし、愛の讃歌
- 吉田雅信 (Fl) 渡辺純子 (Pf) マラン=マレー/バスク、グノー/アヴェマリア、ビゼー/メヌエット、モンティ/チャルダッシュ
- 渡辺純子 (Pf) リスト/コンサート・エチュードより「軽やかに」



吉田雅信(Fl.) 渡辺純子(P.)

◎音楽三田会第二十五回懇親総会

1995年7月22日(土) 於三田北新館ホールにて「幕末太陽伝」1957日活を鑑賞(14:00~16:00)。主演フランク・堺君(会員)を迎えて本会会長油井正一君(音楽評論家)と楽しい芸談、制作の苦心談等々語りあった。

この映画は戦後日本映画のベストテン上位に在り、同じく塾に学んだ石原裕次郎君も重要な役で登場、故人の面影を偲びかつ満場爆笑の連続のうちに会は終わった。

対談45分のあと17:00から隣接のファカルティクラブに場所を移しこの程勲四等瑞宝章に輝いた大橋節夫君など交え、19:00まで懇親の集いが盛り上った。当日出席者名次の諸氏。ゲスト共48名

秋山晃男、出井宏和、石川嘉一、大山英治、いソノテルラ、大橋幸雄、大石泰、大橋節夫、岡本和子、小尾旭、磯村健二、石川浩司、植田紗加、金窪周作、君塚裕重、窪田康夫、黒川昌満、小森昭宏、加宮令一郎、斎藤純一郎、フランク・堺、清水久嗣、高梨公明、高山津図武、滝口明、高浜哲郎、寺西春雄、中川滋、中村勝彦、西田宏子、中尾知彦、姫野翠、藤崎凡三、橋渡美山良夫、杜こなて、安川良介、山田治生、吉田進、油井正一

第二十六回懇親総会一九九六年一月27日(土) 一時 東京三田倶楽部 出席者45名

秋山晃男、荒井宣之、岩尾純一、いソノテルラ、

岩間宏文、大石泰、笈田敏夫、大橋幸雄、大山英治、小尾旭、磯村健二、石川浩司、加藤博子、神林靖、君塚裕重、黒川昌満、小森昭宏、近藤亮一、呉信樹、佐藤正明、斎藤純一郎、桜井武、猿谷紀郎、鈴木啓介、滝口明、戸田修一、中川滋、中村勝彦、永田嶋雄、乃村博子、林田直樹、正富元久、宮田達夫、三善清達、美山良夫、杜こなて、山下博登、山田治生、油井正一、吉田亮一、渡辺純子、後藤暢子、福本ともみ、三好孝信、塾常任理事 長島昭氏の各氏

第二十七回定例懇親総会一九九六年7月19日(金) 七時(東京湾屋形船) 出席者33名

荒井宣之、いソノテルラ、小尾旭、大山英治、岡田龍之介、金森圭司、神林靖、君塚裕重、黒沢宏、小森昭宏、呉信樹、斎藤純一郎、鈴木隆太、田中玲子、高浜哲郎、滝口明、津家式子、寺西春雄、中川滋、中丸美絵、中村勝彦、乃村博子、樋口隆一、藪彰夫、山崎一夫、油井正一、吉田雅信、渡辺吉史、ゲスト参加/荒井恵里子、大久保恭子、大久保朋子、姫野徹、渡辺ローザ

第二十八回懇親総会一九九七年一月25日(土) 一時 東京三田倶楽部 出席者37名

秋山晃男、伊津野忠里、磯村健二、岩間宏文、いソノテルラ、笈田敏夫、大石泰、大山英治、小尾旭、岩尾純一、石川浩司、斎藤純一郎、桜井武、加藤博子、神林靖、金森圭司、君塚裕重、喜早哲、呉信樹、黒川昌満、後藤暢子、後藤田純生、後藤田夫規子、高浜哲郎、寺西春雄、滝口明、中川滋、中村勝彦、中丸美絵、美山良夫、高島将郎、水織ゆみ、山中徹夫、吉田亮一、油井正一、渡辺純子、ゲスト一名

音楽三田会・会計報告 (1995.4.1~1996.3.31)

A 収入の部	合計	614,339.-
会費収入(入会金・追加会費)15名	150,000.-	
銀行利息	339.-	
第25回懇親総会会費(7月22日(土))41名	205,000.-	
幕末太陽伝のみ参加ゲスト34名	34,000.-	
第26回懇親総会会費(1月27日(土))45名	225,000.-	
B 支出の部	合計	772,030.-
第25回懇親総会・北新館ホール	51,500.-	
“ ファカルティ・クラブ	175,000.-	
第26回懇親総会・東京三田倶楽部	235,000.-	
会報第7号印刷費	84,975.-	
名簿(1995年版)印刷費	82,915.-	
郵送料(切手・はがき)	114,360.-	
出欠はがき印刷費	22,660.-	
コピー代	5,620.-	
C 前期からの繰越金	△301,273.-	
A - B + C = (次期へ繰越金)	△458,964.-	

音楽三田会・会計報告 (1996.4.1~1997.3.31)

A 収入の部	合計	585,341.-
会費収入(入会金・追加会費)7名	70,000.-	
銀行利息	341.-	
第27回懇親総会会費・屋形船(7月19日(金))33名	330,000.-	
第28回懇親総会会費(1月25日(土))37名	185,000.-	
B 支出の部	合計	804,065.-
第27回懇親総会・屋形船平井	315,000.-	
第28回懇親総会・東京三田倶楽部	200,000.-	
名簿(1996年版)印刷費	114,330.-	
郵送料(切手・はがき)	135,000.-	
出欠はがき印刷費	22,660.-	
コピー代他	3,685.-	
封筒印刷費	13,390.-	
C 前期からの繰越金	△458,964.-	
A - B + C = (次期へ繰越金)	△677,688.-	

新入会員紹介

◇池谷知木君 (法1996卒、関連

事業) 日本音楽著作権協会中国支部

◇植田紗加栄さん (文1966卒、

研究評論 ジャズ・ポピュラー

◇岡田龍之介君 (経1978卒、チ

エンバロ) 洗足学園大学講師・研

究評論

◇加藤克朗君 (法1994卒、フル

ート) 洗足学園大学講師

◇高山津岡武君 (経1961卒、マ

ンドリン) 日本マンドリン連盟常

任理事

◇滝口明君 (商1976卒、ヴァイ

オリン) 厚木交響楽団・旭ダイヤ

モンド東京第一営業課長

◇戸田修一君 (法1981卒、放送

・サックス) ニッポン放送制作部

・特別職

◇中尾知彦君 (文1991卒、関連

事業) 群馬交響楽団事務局

◇長田新太郎君 (経1978卒、ヴ

ァイオリン) 群馬交響楽団コンサ

ートマスター

◇乃村博子さん (文1985卒、ピ

ァノ・研究評論)

◇安川良介君 (文1971卒、関連事

業) (株)電通企画開発局文化企画部

◇金森圭司君 (法1978卒、指揮

ヴァイオリン) 全日本医家管弦楽

団音楽監督、常任指揮者 (東大病

院医師)

◇伊藤暁君 (経1971卒、クラリ

ネット) (株)新潮社、新潮文庫編集

部部长

◇中畑淳君 (高1980卒、ピアノ)

武蔵野音大講師

◇田中玲子さん (文1996卒、ヴ

ァイオリン・関連事業) フィリア

ホール事務局

◇後藤田夫規子さん (文1957卒、

レコード・出版) (株)ハルモニア

◇磯地秀樹君 (法1965卒、関連

事業) ザ・フエニックスホール企画

・事業部長

◇市川右近君 (法1986卒、歌舞伎)

●音楽三田会の皆様へ

皆様の入会金5千円は名簿・会報

の発行と年二回の懇親会ご案内費で

別掲会計報告のごとく消失いたしま

した。幹事会で再三にわたり討議い

たしました結果、会員の皆様に各自

金壹万円追加会費をいただき、この

財政状態を正常化したこととなり

ました。まだお納めでない会員のか

たは左記までお願いします。(ただ

し入会金壹万円お払いの方は追加の

必要はありません)

富士銀行新橋支店 口座名 音楽三田会

口座番号 普通986174番

●毎月一回合しています

毎月第一月曜日夜七時から、帝国

ホテル本館地下一階の東京三田倶楽

部にて、月例の幹事打合せ会を行っ

ております。音楽三田会会員はどな

たでも出席自由です。

「音楽三田会」会則

一、本会は「音楽三田会」と称し、

会員相互の親睦と交流を目的とす

る。

二、本会は、慶応義塾に学び、音楽

を職業とする者、また音楽活動に

かかわりのある者をもって会員と

する。

三、定例懇親会は原則として年二回

(一月、七月) 開催する。

四、本会は、会長一名の他、副会長

監事、幹事および必要に応じて名

誉会長、顧問、相談役を置くもの

とする。(複数可)

五、会員は入会の際に入会金(一万

円)を納入し、また会合の都度、

出席者は参加費を支払うものとす

る。

付則 一、会報並びに会員の名簿

を発行する。

音楽三田会役員

会長 油井正一

副会長 寺西春雄

名誉会長 服部正

幹事(以下あいうえお順)

阿部 肇

石川 浩 司

石橋 裕

いソノてルヲ(司会担当)

磯村 健二

岩尾 純一(会計担当)

笈田 敏夫

大橋 節夫

大山 英治(編集担当)

岡 弘道

小尾 旭(事務局担当)

観世 栄夫

喜早 哲

北村 英治

黒川 昌満

黒沢 宏

小林 亜星

清水 久嗣(編集担当)

中野 博詞

中村 絃子

西田 宏子

美山 良夫

峰岸 壮一

三善 清達

山下 博 誉

山田 治生(編集担当)

渡辺 純子

編集後記

諸般の事情により、2年振りの発行となりました。編集委員、姫野翠さんの逝去が惜しまれます。新たに山田治生君が参加、フレッシュな戦力が大いに期待できます。住所・所属など変更がありましたら、毎年2回のご案内はがきで必ずご返事下さい。またデータ空覧の会員につきまして消息ご存じの方は乞うご一報。では東京湾屋形船での再会を楽しみにしています。……